

北病棟 2 階

(精神科神経科、精神科外来、デイケア診療部)

1. 看護単位の概要

病 床 数 44 床
 精神科神経科 44 床

2. 病棟の特徴

当病棟は北病棟 1 階精神科外来、2 階入院病棟、3 階精神科作業療法室（入院患者対象）デイケア診療部となっている。精神科デイケア診療部を所有しているため、通院・入院・入院治療後の社会復帰訓練のリハビリテーションまでを利用する事が出来る。

1) 病棟

施設基準として急性期治療病棟Ⅰとして運営している。応急入院施設基準があり、拠点大学病院精神科として措置入院（鑑別・治療）を受け入れている。また「心神喪失の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察に関する法律（医療観察法）」に基づく鑑定入院医療機関でもあり、通院対象者を受け入れている。病棟は 44 床の混合病棟個別開放病棟で、保護室 6 床・観察室 3 床を有している。入院対象疾患は、統合失調症・非定型精神病・気分障害・摂食障害・人格障害・高次脳機能障害、その他、修正電気痙攣治療（mECT）目的、クロザリル導入目的の患者や身体合併症患者を受け入れている。精神科における地域精神保健活動のニーズに応えるべく、他職種と連携したチーム医療を実践し大学病院の精神科や急性期病棟に求められる活動を行っている。

2) 外来

外来は 9 診察室を稼働させ摂食障害、児童・思春期精神疾患を含め、1 日約 100 名前後の患者が受診している。また児童心理テストに適したプレイルームや診察室を保有している。臓器移植に関連した精神面への治療の必要性から、精神科臓器移植術前アセスメント外来を立ち上げ対応している。外来看護師は、患者の疾患への不安や苦痛等に丁寧に対応しながら、スムーズな診療の介助に努めている。

リエゾン精神看護専門看護師が在職しており、リエゾンチームとして往診、カンファレンスに参加することで横断的に患者のフォローを可能としている。

3) デイケア

医師、看護師、作業療法士、臨床心理士の他職種チームで形成している。各々がプログラムを担当し心身機能の回復、対人交流の促進、現実検討力の向上や技能習得、生活の自立を目標に企画・実施し運営している。